



令和7年7月18日 燕市立燕北小学校 保健室 No.4

### ☆「みんいくチャレンジウィーク」にご協力ありがとうございました

6月25日~7月1日の1週間、全校で「みんいくチャレンジウィーク」に取り組みました。お子さんのご家庭での様子はいかがだったでしょうか?これを機に習慣化していけるよう、引き続きサポートをよろしくお願いいたします。

### ~前期「みんいくチャレンジウィーク」の結果(7日のうち5日以上目標を達成できた児童)~

学年	1 年生	2 年生	3年生	4 年生	5 年生	6年生
就寝時刻を守	69.2%	76.5%	91.3%	83.3%	63.6%	84.6%
れた	00.270	1 0.0 70	01.070	00.070	00.070	0 1.070
起床時刻を守	61.5%	70.6%	69.6%	50.0%	63.6%	69.2%
れた	01.5%	70.0%	09.0%	50.0%	05.0%	09.2%
メディア時間	69.2%	88.2%	82.6%	58.3%	95.5%	84.6%
を守れた	09.2%	00.270	02.0%	00.5%	95.5%	04.0%
おうちのルー	76.9%	94.1%	82.6%	66.7%	90.9%	88.5%
ルを守れた	10.9%	94.1%	02.0%	00.1%	90.9%	00.0%

→おうちのルールを守れた子どもたちが多くいました。

夏休みに入っても、規則正しい生活を送れると良いですね。

### ~児童の感想~

- 学校で眠くならなくなったし、ママやパパのご飯が美味しく感じた。
- ・メディア時間を延ばしたくなったけれど、おうちのルールを守って辞められた。
- 毎日続けたいと思った。自分を越そうと頑張った。目覚まし時計を使った。
- 早く起きるために早く寝た。タイマーをセットしてメディア時間を守れた。
- いつもはゲームが終わったら5分追加しちゃうけど、この1週間は追加しないように頑張った。
- 時間を意識して自分で行動できるようになった。
- 目標の時刻に起きられたから、学校でいっぱい集中できた。
- ・ルールを決めることでそれを守ろうという意識が増えた。
- 8:45 に布団に入って、余裕をもって寝ることができたので、「急がなきゃ」とならなかった。

## ☆夏休みを利用して受診を!

健康診断の結果から、受診が必要なお子さんには受診勧告書を 出しています。 **まだ受診していない場合は、ぜひ夏休みを利用し** て、治療を始めてください。 すべてのお子さんが気持ちよく 2 学 期を迎えられることを願っています。





# 数字で見る熱中病が覚



2024年5月~9月の全国における、 熱中症で救急搬送された人の数(素計)

その前の年と比べると、なんと6,000人以上増えました。うち軽症が65.3%、入院が 必要な中等症が32.0%、長期入院が必要な重症が2.2%、死亡が0.1%でした。3~4 人に1人は入院が必要な状態で搬送されていることがわかります。



1日に飲料で 摂取すべき水分量 (食事等に含まれる水分を除く)

ただし、たくさん汗をかいたときにはそれに見合った 水分と塩分をとる必要があります。水分・塩分は食事 でもとる必要があるので、できるだけ食事を抜いたり しないようにしましょう。

### 猛暑日の基準となる 最高気温

テレビから「猛暑日」と聞こえたらその 日の最高気温は35度以上の厳しい暑さに なるということ。対策は万全に。



# 「のどが渇いた」と感じたときに 体内から失われている水分量



軽い脱水では自覚症状がなく、のどが渇いた ときには既に予想以上に水分が失われていま す。のどが渇く前にこまめに水分補給をしま しょう。



熱中症警戒アラートは熱中症の危険が極めて高い場合、環境省から地域ごとに発表されます。アラートが出たら外 での運動は原則、中止・延期が推奨されます。外出もできるだけ控えましょう。

# 東症**影防**にプラス 手のひらの冷却



をこ すいぶん ほきゅう たいせつ すいぶん ほきゅう 夏にスポーツをする人は熱中症予防がとても大切ですね。こまめな水分補給・ セャラコヒン メー メー メー ぽラぽラぽラ 休憩など予防方法はたくさんありますが、プラスで覚えておいてほしい方法があ ります。それが**手のひらを冷やすこと**。手のひらにはAVA血管という体温を ままうせつ はたら かある血管が通っています。熱中症は体温が上昇することで起こる ため、手のひらを冷やすことで体温の上昇を抑えられるのです。

こおりみず い ひた もっと こうか てき むずか ばあい 然 氷水を入れたバケツなどに手のひらを浸すのが最も効果的。難しい場合は、 対果は少し落ちますが保冷剤でもOK

※ 運動前と休憩中に3分間ずつなど、こまめに冷やすとより予防効果が高まります